

まえがき

新型コロナウイルス禍は3年目に入りましたが、再び感染拡大により日常生活は急変しました（2022年1月現在）。いろいろな催事が延期や中止となり、外出は制限され「巣ごもり」生活がまた増加しています。

一方、市民や企業が新たな連携や発想の転換をすることで、「暮らしを守る」「事業を守る」という動きが出てきています。



弊社も、令和3年秋に、日光インテリア見学会などで大変お世話になっております、「日光金谷ホテル」（現存する日本最古のクラシックホテル）にて、「株式会社ユザワ創立30周年記念行事」を開催する予定でした。

その折には、自費出版（第2作目）の小冊子「積小為大 私のインテリア自分史」を配布させていただこうと考えておりました。

ところが今回のコロナ禍で、この記念行事は1年程の延期を余儀なくされました。

そこでやむなく、お世話になっております関係者の皆さまに、本小冊子をご送付差し上げたり、移動などの制限がある中、直接お会いできた方には直にお渡しするなど、一年をかけて少しずつお届けしていった次第です。

約1000冊を配らせていただいたのですが、思いもよらず拙本について皆様よりたくさんのご感想をいただきました。

手元に届きましたお手紙、お葉書を拝読し、その暖かい文面に「大きな感動」と「大きな未来（次世代）」を感じました。

いただいたご感想の一部をご披露させていただきます。

町田ひろ子インテリアコーディネーターアカデミー宇都宮校
元事務局長 沼生 共邦様 (お手紙)

拝復

この度は「積小為大 私のインテリア自分史」をお送り頂き、誠にありがとうございます。

お初めに「10億企業達成」おめでとうござります。今年も正月早々吉報が届き、大きなお年玉を頂いた気持ちに満ちました。

「積小為大 私のインテリア自分史」たいへん興味深く拝読させて頂きました。全編を貫いている思想は「モノを売る」のではなく「人間湯澤」を売るという強い信念と実行力を感じました。

読み進めていく中でネットワークの大切さ、そしてその広さ、深さには驚くばかりです。正に「積小為大」の実行者です。湯澤社長が築いたネットワークにより、インテリア業界の発展はもとよりインテリアコーディネーター一人一人の活躍の礎を築いている情熱に深い感銘を受けました。

また、業務多忙の中、地域貢献活動の頭の下がる思いです。

積小為大の実行者、ネットワークの構築、地域貢献活動の実践等々「商いの王道を歩む姿は仕事の神様が湯澤社長の背中を押してくれている。

日光から全国へそして更なる高みへと押し上げてくれる確信しております。

お初めのご発展をお祈り申し上げ「積小為大 私のインテリア自分史」をお送り頂いた御礼と代々させて頂きます。ありがとうございます。

敬具

沼生共邦

株式会社エザワ
代表取締役
湯澤隆司様

私の親戚 千葉県 齊藤 稔様 (ハガキ)

拝復 お元気にして活動の様子、何れよりと存じます。
さて去る14日「私のインテリッ自分史」と拝受しました。ありがとうございます。
早連を母トヨの仏前へ供え、隆司さんへこと報告しました。
生前、隆司さんは元吾さんの素養を受け継いで事業を営んでいると
よく云ってました。「創業30周年、10億4企業」となり、誠におめでと
うございます。自分史から「株式会社エガワ」の生い立ち、経営理念、
戦時中々がよく判ります。人脈は財産です。折木日光瀬尾から
金重、海外へと販路拡大の成功を祈りました。これからセシスとハッシ
ョンを引継ぎ、続々行動され、このコロナ禍を乗り越えたいと思っております。
健康に留意され、益々の活躍を祈念申し上げます。

お二人の他、たくさんの貴重なご感想をいただき、心を揺さぶられ、また日本のインテリア業界への熱い思いがこれまで以上にあふれてきました。

この思いを胸に更なる「未来への挑戦」をし続けることは私の使命であると感じ、この熱い思いの発表の場として、弊社ホームページに「社長のつぶやき、100年長寿企業を目指して！！」として投稿してまいります。

尚、自分勝手な執筆で、関係者、知人等の皆様の承諾なく無断で各位のお言葉とお写真等を抜粋・引用させていただくことがあるかもしれません。

まことに申し訳ありませんが、コロナ騒動で個々にお会いして了承を得られない状況に鑑みてご無礼の段、ご了承のほどよろしくお願い致します。

「積小為大 私のインテリア自分史」を上梓させていただいたことで、何事も文字、写真等を編集して残すのは大切なことと思ひまして「社長のつぶやき」を開始した次第です。

2022年1月記

★追加[令和4年新年訓示より]

明けましておめでとうございます。

コロナ禍で迎えた2度目の新年、先行きの見えない情勢が続いていますが、お陰様で業績は堅調に推移しており、これも社員一丸となって事業に邁進していただけた賜物と、厚く感謝申し上げます。

コロナ禍の影響から経済活動の形が変化している状況で、デジタル化・SDGS・カーボンニュートラル等の取組み、更に今後訪れる経済回復での変化をビジネスチャンスと捉え、益々の事業発展・成長に向けて、攻めの経営に挑戦していきたいと思ひます。

「積小為大」の精神で、一つ一つの小さな努力・蓄積がやがて大きな発展へとつながり、利益の出る企業体制を確立していく、そして更に100年長寿企業を目指したいと思ひます。